



クライアント アダプタのインストール

この章では、クライアント アダプタをインストールする手順について説明します。

この章では、次の項目について説明します。

- [クライアント アダプタの挿入 \(P. 3-2\)](#)
- [クライアント アダプタ ソフトウェアのインストール \(P. 3-9\)](#)
- [中間ドライバの手動インストール \(P. 3-21\)](#)
- [Group Policy Delay 用の Microsoft 修正プログラムのインストール \(P. 3-22\)](#)

クライアントアダプタの挿入

この項では、Cardbus PC カードまたは PCI カードをコンピュータに挿入する手順について説明します。



注意

これらの手順、およびこれらの手順で説明する物理的な接続は、一般に、従来型 CardBus スロットと PCI 拡張スロットに適用されます。カスタム機器や従来型でない機器については、CardBus スロットと PCI 拡張スロットで構成が異なる場合がありますので注意してください。

CardBus PC カードの挿入

- ステップ 1** 作業を始める前に、カードを確認します。カードの一端は 2 列の 68 ピンのコネクタです。カードは、CardBus スロットに対して一方向からだけ挿入できるようになっています。



(注) CardBus PC カードのスロット（サポートされる場合）が左右どちらの側面にあるかは、コンピュータのモデルによって異なります。

- ステップ 2** コンピュータに電源を投入し、オペレーティングシステムを完全に起動します。

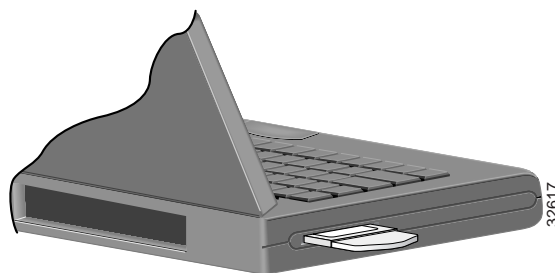
- ステップ 3** シスコのラベルを上に向けてカードを持ち、カードが完全に装着されるまで CardBus スロットに挿入します（図 3-1 を参照）。カードが正しく挿入されていれば緑色の LED が点灯します。



注意

コンピュータの CardBus スロットにカードを無理に押し込まないでください。無理に押し込むと、カードとスロットの両方を損傷する恐れがあります。カードを容易に挿入できないときは、カードを取り出してからもう一度挿入してください。

図 3-1 コンピュータへの Cardbus PC カードの挿入



(注) CardBus PC カードの構成プロファイルは、カードを挿入したスロットに関連付けられます。したがって、CardBus PC カードは常に同じスロットに挿入してください。あるいは両方のスロットにプロファイルを作成してください。クライアントアダプタのプロファイルの作成方法については、第 4 章を参照してください。

ステップ 4 Found New Hardware Wizard ウィンドウが表示されたら、**Cancel** をクリックします。



(注) **Cancel** をクリックしないと Wizard がクライアント アダプタ用のソフトウェアのインストールを試みますが、検出されません。

ステップ 5 「クライアントアダプタ ソフトウェアのインストール」の項 (P. 3-9) に進みます。

PCI カードの挿入

PCI カードを挿入するには、次に示された順序に従って操作を実行します。

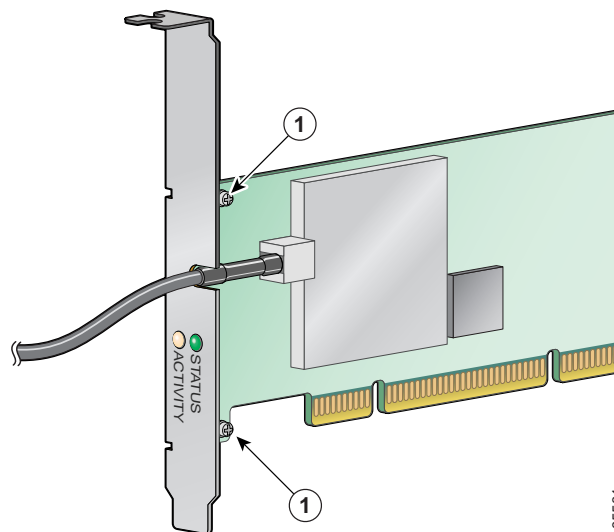
- (必要に応じて) ブラケットを変更します (下記を参照)。
- カードを挿入します (P. 3-4 を参照)。
- アンテナを組み立てます (P. 3-5 を参照)。
- アンテナを取り付けます (P. 3-6 を参照)。

ブラケットの変更

PCI カードにはフルプロファイルのブラケットが同梱されています。PCI カードの挿入先の PC が、ロープロファイルのブラケットを使用する必要がある場合は、次の手順に従ってブラケットを変更します。

ステップ 1 ブラケットをカードに固定している 2 本のネジを取り外します。図 3-2 を参照してください。

図 3-2 PCI カード ブラケットの変更



1 ブラケットのネジ

■ クライアントアダプタの挿入

- ステップ2** ブラケットをスライドさせてカードから取り外し、ブラケットを傾けてアンテナ ケーブルを外します。

**注意**

アンテナ ケーブルを PCI カードから抜き取ったり引き離したりしないでください。アンテナはカードに固定接続する必要があります。

- ステップ3** ロー プロファイルのブラケットをカードに付けながら、LED がブラケット上の対応する穴に収まるようにします。

- ステップ4** [ステップ1](#)で取り外したネジを、ブラケット側のカードの設置面にある穴 ([図 3-2](#) を参照) に挿入して、きつく締めます。

カードの挿入

次の手順に従って PCI カードを PC に挿入します。

- ステップ1** PC とそのすべてのコンポーネントの電源を切ります。

- ステップ2** PC のケースを取り外します。



(注) ほとんどの Pentium PC では、PCI の拡張スロットは白です。スロットの識別方法は、ご使用の PC のマニュアルを参照してください。

- ステップ3** 使用していない PCI 拡張スロットの上部にある CPU バック パネルの表面からネジを外します。バック パネルの金属製のブラケットは、このネジで固定されています。

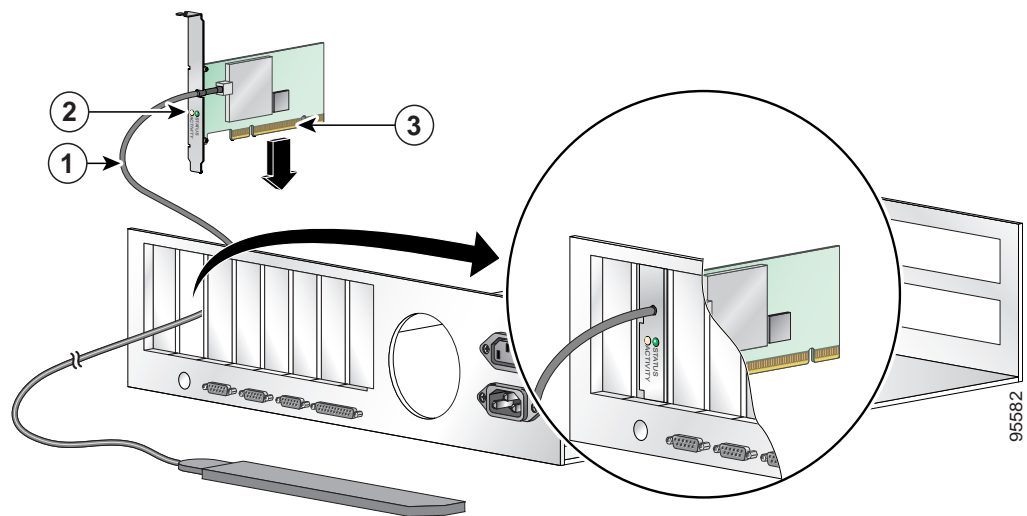
**注意**

静電気によって、PCI カードが損傷することがあります。静電気防止用パッケージからカードを取り出す前に、接地されている PC の金属部分に触れて、静電気を放電してください。

- ステップ4** コンピュータ内で使用していない PCI 拡張スロットを確認します。

- ステップ5** カードのアンテナが、使用していない拡張スロットのそばの開口部を通してコンピュータの外側に配置されるようにします。[図 3-3](#) を参照してください。

図 3-3 PC への PCI カードの挿入



1	アンテナ ケーブル
2	LED
3	カードエッジコネクタ

ステップ 6 カードを傾けて、LED が CPU のバック パネルの開口部に収まるようにします。図 3-3 の拡大図を参照してください。

ステップ 7 コネクタがしっかり装着されるまで、カードを拡張スロットに挿入します。

**注意**

拡張スロットにカードを無理に押し込まないでください。カードとスロットの両方を損傷する恐れがあります。カードを挿入できないときは、カードを取り出してからもう一度挿入してください。

ステップ 8 CPU バック パネルのネジを取り付けて、コンピュータのケースを元に戻します。

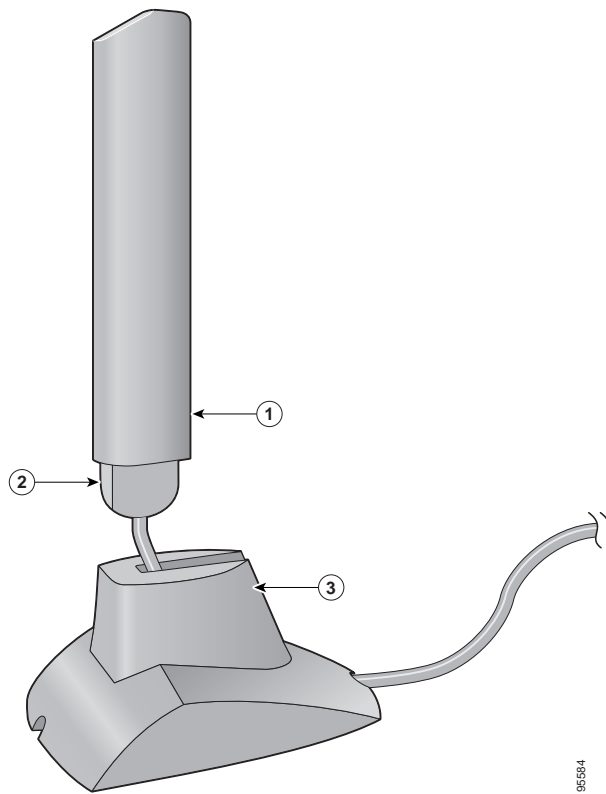
アンテナの組み立て

PCI カードのアンテナを組み立てる手順は、次のとおりです。

ステップ 1 アンテナ ベースの底の開口部にアンテナを通します。

ステップ 2 ノッチがベースの前面にあるシスコのラベルに面するように、アンテナを配置します。図 3-4 を参照してください。

図 3-4 アンテナのベースへの挿入



1	アンテナ
2	ノッチ
3	アンテナベース

ステップ 3 図 3-4 に示すように、アンテナ ケーブルをベース上部のレセプタクルに押し込みます。

ステップ 4 レセプタクル内で、カチっという音がするまでアンテナをまっすぐ下に押し込みます。

アンテナの取り付け

PCI カードは無線デバイスなので、スループットと無線範囲の低下をもたらす RF 障害物および一般的な妨害源の影響を受けやすくなります。次のガイドラインに従って、最大のパフォーマンスが得られるようにしてください。

- PCI カードのアンテナは、保管棚、書棚、ファイリング キャビネットなどの大きなスチール製品が、送受信される無線信号の障害物にならない場所に設置してください。
- アンテナは、電子レンジや、2.4GHz および 5.8GHz のコードレス電話から離れた場所に設置してください。これらの製品は PCI カードと同じ周波数で動作するので、信号に対する妨害が発生する可能性があります。

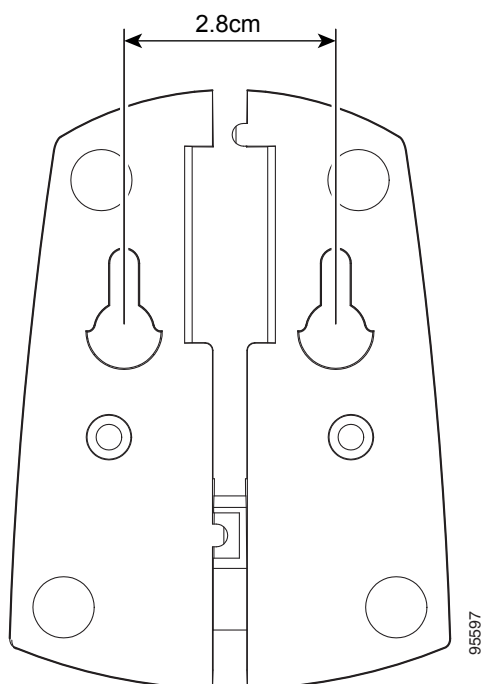
PCI カードのアンテナを水平面に設置したり、壁に取り付けたりする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 次のいずれかを実行します。

- アンテナを水平面上で使用する場合はアンテナを直立させます。次に**ステップ 7**に進みます。
- アンテナを壁に取り付ける場合は、**ステップ 2**に進んでください。

ステップ 2 2.8cm の間隔で壁に 2 つの穴を開けます。**図 3-5** は、アンテナ ベースの底の取り付け用の穴の間隔を示しています。

図 3-5 アンテナ ベースの底面

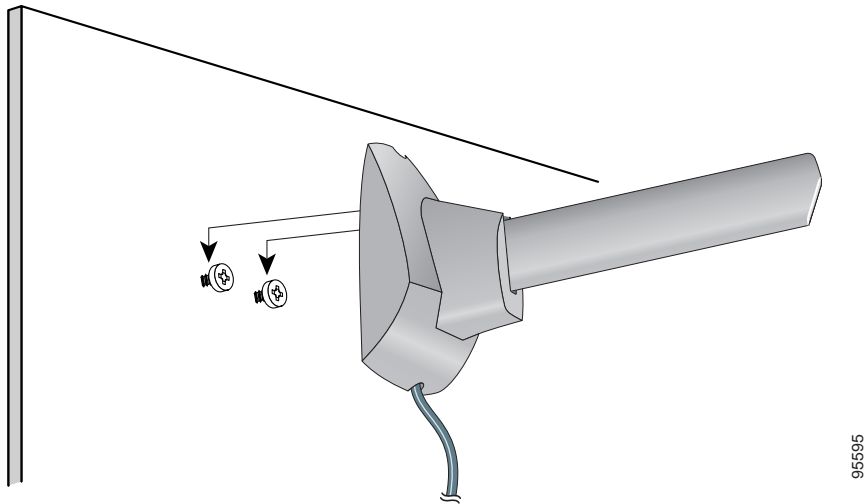


ステップ 3 付属の 2 つの壁面取り付け用金具を穴に取り付けます。

ステップ 4 付属の 2 本のネジを壁面取り付け用金具に入れ込みます。このとき、ネジのヘッドと取り付け金具の間に少し隙間を残しておきます。

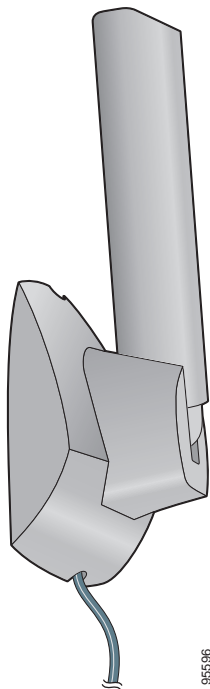
ステップ 5 アンテナ ベースの底の取り付け用の穴をネジに合わせ (**図 3-6** を参照)、下に引いて固定します。

図 3-6 アンテナの取り付け



ステップ 6 アンテナはベースから 90 度回転します。最適な状態で受信できるように、アンテナは垂直に立てます (図 3-7 を参照)。

図 3-7 アンテナの回転



ステップ 7 PC を起動します。カードが正しく挿入されていれば緑色の LED が点灯します

ステップ 8 Found New Hardware Wizard ウィンドウが表示されたら、**Cancel** をクリックします。

ステップ 9 「クライアントアダプタ ソフトウェアのインストール」に進みます。

クライアント アダプタ ソフトウェアのインストール

この項では、実行ファイル Win-Client-802.11a-b-g-Ins-Wizard-vx.exe (x はリリース番号) から Cisco Aironet CB21AG または PI21AG クライアント アダプタのドライバをインストールする方法について説明します。これらのクライアントアダプタ ソフトウェアを、Windows 2000 または Windows XP を実行するコンピュータにインストールする手順は、次のとおりです。

**注意**

Cisco Aironet CB21AG および PI21AG クライアント アダプタ ソフトウェアは、他の Cisco Aironet クライアント アダプタ ソフトウェアとは互換性がありません。CB21AG および PI21AG カードでは Aironet Desktop Utility (ADU) を使用し、他のすべての Cisco Aironet クライアント アダプタでは、Aironet Client Utility (ACU) を使用する必要があります。

**注意**

リポートを含むインストールプロセスの間は、クライアントアダプタを取り出さないでください。

**(注)**

この手順は、Cisco Aironet CB21AG および PI21AG クライアント アダプタ ソフトウェアがコンピュータに最初にインストールされたときに実行するものです。このソフトウェアがすでにコンピュータにインストールされている場合は、第9章の手順に従ってクライアントアダプタ ソフトウェアをアップグレードしてください。

**(注)**

一度にインストールして使用できる CB21AG または PI21AG クライアントアダプタは、1 つだけです。ソフトウェアでは、複数の CB21AG または PI21AG カードの使用はサポートしていません。

- ステップ 1** クライアント アダプタがコンピュータに挿入されていることを確認します。
- ステップ 2** Cisco Connection Online (CCO) のユーザ名とパスワードを持っていることを確認してください。
- ステップ 3** CCO のユーザ名とパスワードを持っていない場合は、シスコのメイン ページ(<http://www.cisco.com>) にアクセスして Register を (最上部) クリックします。指示に従って、CCO ユーザ名とパスワードを作成します。
- ステップ 4** 次の URL にアクセスします。
<http://www.cisco.com/public/sw-center/>
- ステップ 5** **Wireless Software** をクリックします。
- ステップ 6** **Wireless LAN Access** をクリックします。
- ステップ 7** **Cisco Wireless LAN Client Adapters** をクリックします。
- ステップ 8** **Cisco Aironet Wireless LAN Client Adapters** をクリックします。

ステップ 9 次のいずれかの手順を実行します。

- CardBus PC カードを使用している場合は、**Cisco Aironet 802.11a/b/g CardBus Wireless LAN Client Adapter (CB21AG)** をクリックします。
- PCI カードを使用している場合は、**Cisco Aironet 802.11a/b/g PCI Wireless LAN Client Adapter (PI21AG)** をクリックします。

ステップ 10 要求されたら、CCO ユーザ名とパスワードを入力して、**OK** をクリックします。

ステップ 11 **Aironet Client Installation Wizard (Firmware, Driver, Utility)** をクリックします。

ステップ 12 **Windows 2000 or Windows XP** をクリックします。

ステップ 13 1 番大きいリリース番号のリンクをクリックします。

ステップ 14 Install Wizard ファイル (**WinClient-802.11a-b-g-Ins-Wizard-vxx.exe**) をクリックします。**xx** はバージョン番号です。

ステップ 15 要求されたら、CCO ユーザ名とパスワードを入力して、**OK** をクリックします。

ステップ 16 暗号認証フォームに入力し、ソフトウェア使用許諾契約の条項を読み、同意します。その後、ファイルを再び選択してダウンロードし、コンピュータの Desktop にファイルを保存します。

ステップ 17 Windows エクスプローラを使用してインストーラを探します。

ステップ 18 インストーラをダブルクリックします。「Starting InstallShield Wizard」メッセージが表示され、続いて Preparing Setup ウィンドウ (図 3-8 を参照) および Cisco Aironet Installation Program ウィンドウ (図 3-9 を参照) が表示されます。

図 3-8 Preparing Setup ウィンドウ

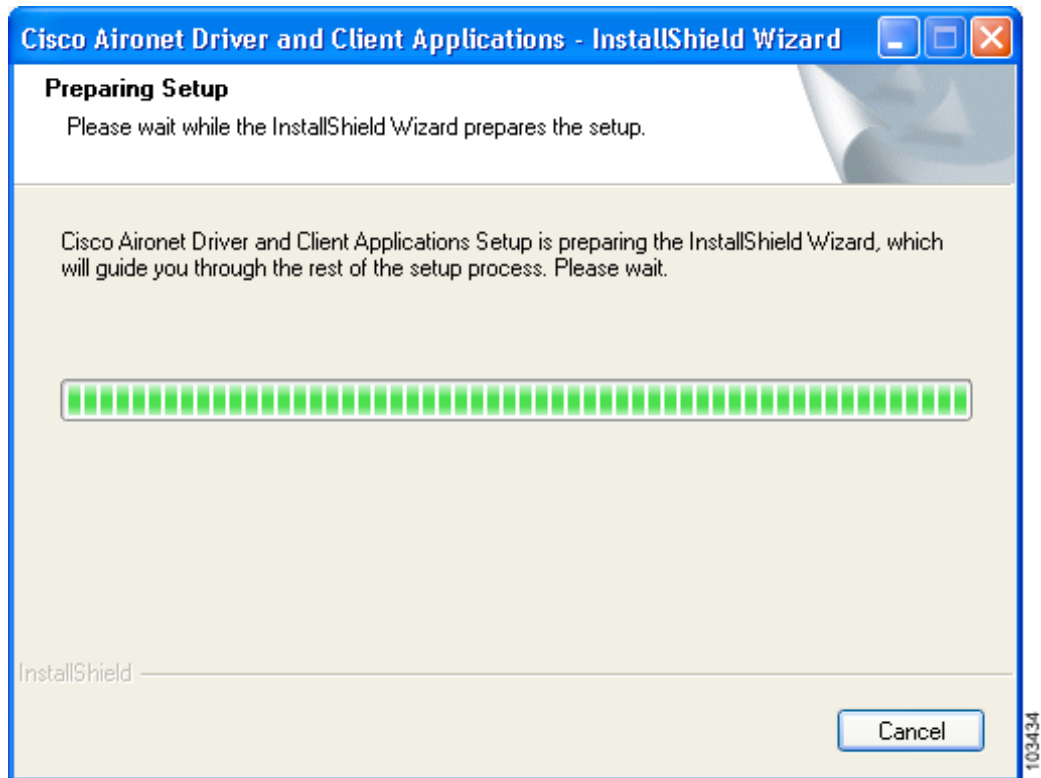
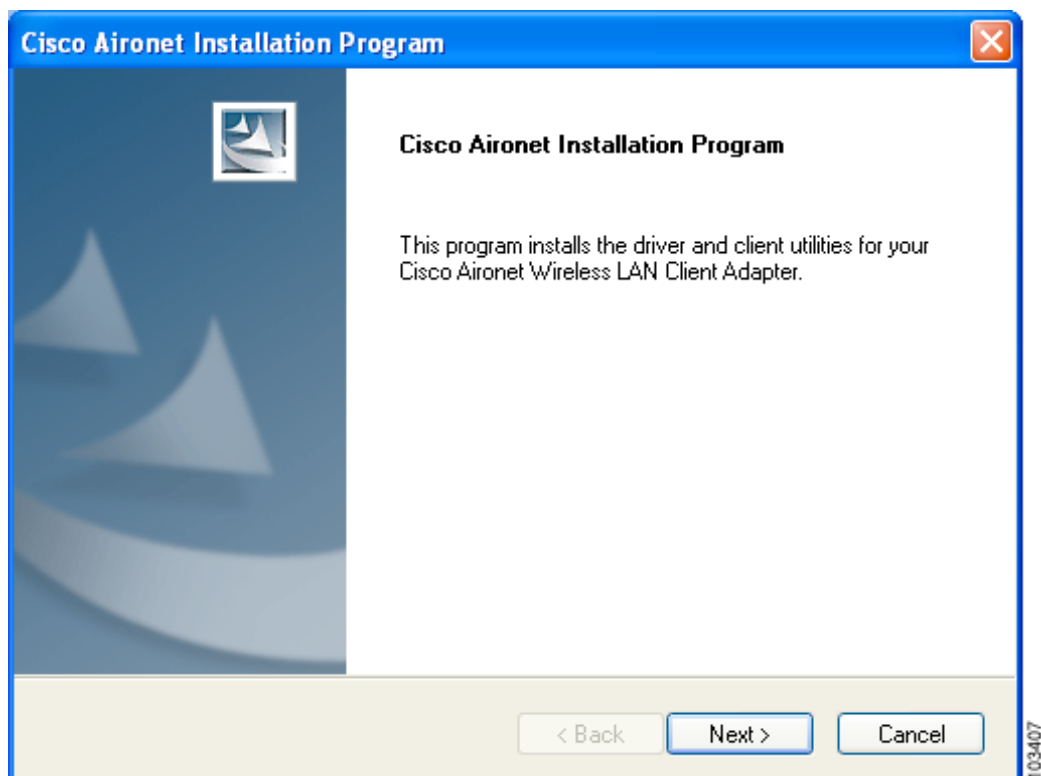
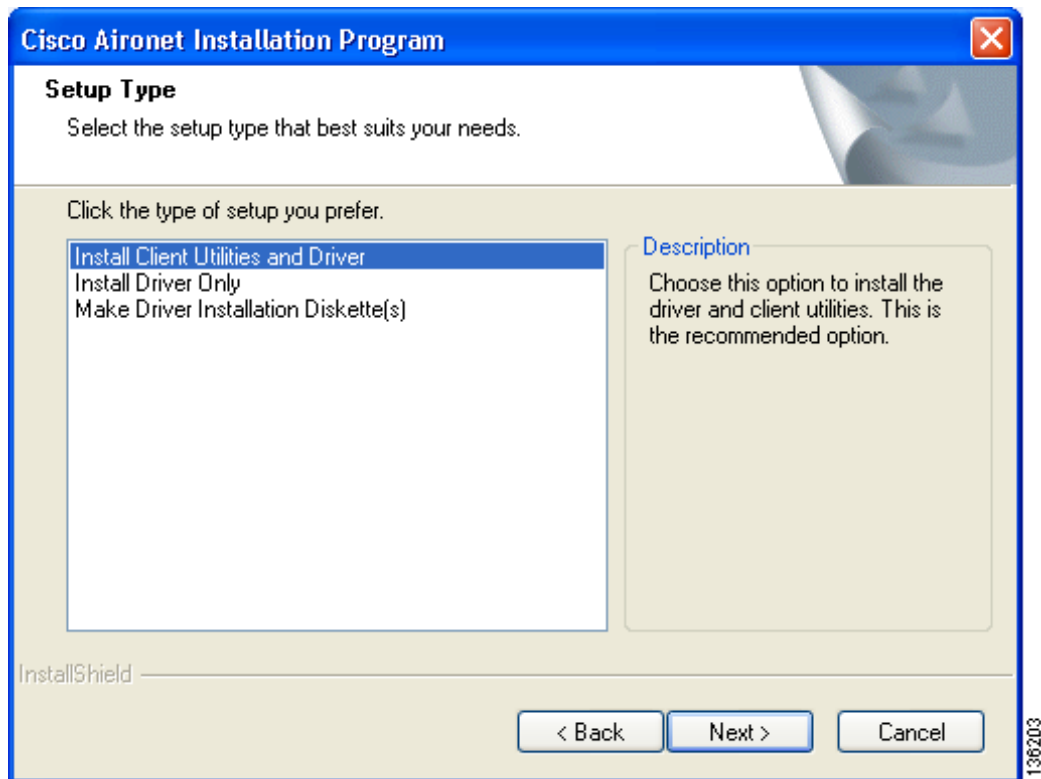


図 3-9 Cisco Aironet Installation Program ウィンドウ



ステップ 19 **Next** をクリックします。Setup Type ウィンドウが表示されます (図 3-10 を参照)。

図 3-10 Setup Type ウィンドウ



ステップ 20 次のいずれかのオプションを選択して、**Next** をクリックします。



(注) ソフトウェア コンポーネント同士の互換性を保つために、クライアントユーティリティとドライバのインストールをお勧めします。

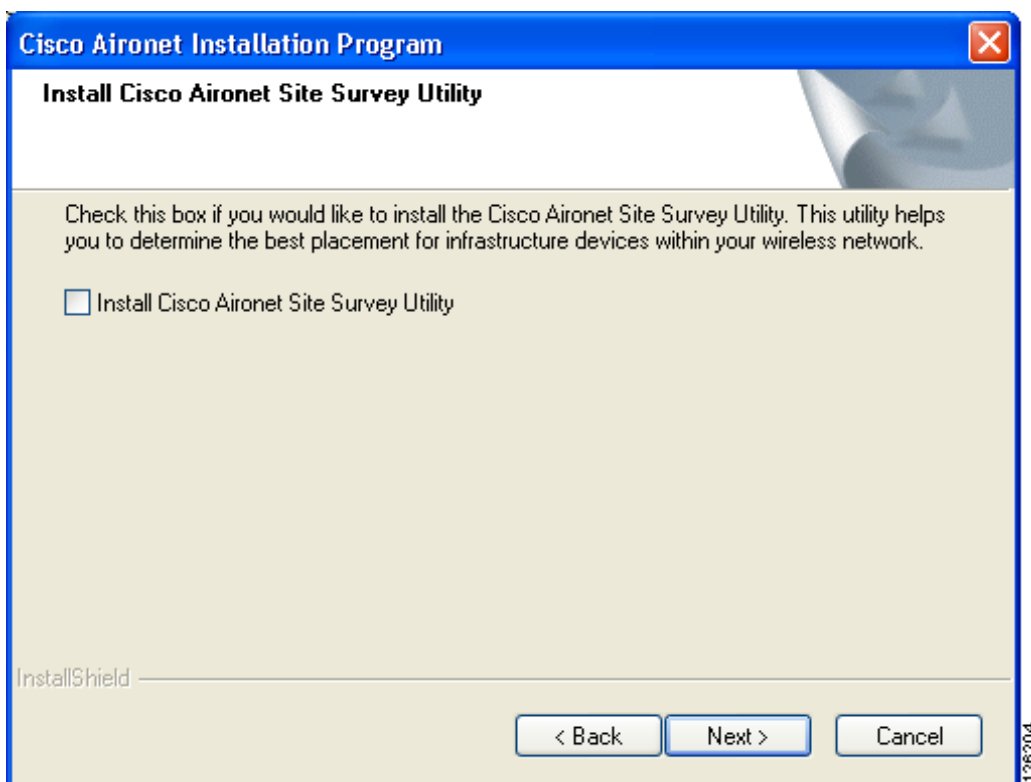
- **Install Client Utilities and Driver** : クライアントアダプタドライバとクライアントユーティリティをインストールします。
- **Install Driver Only** : クライアントアダプタドライバのみをインストールします。このオプションを選択した場合は、**Next** をクリックして、[ステップ 32](#)に進みます。
- **Make Driver Installation Diskette(s)** : Windows のデバイス マネージャを使用してドライバをインストールするときに使用するドライバのインストールフロッピーディスクを作成できます。



(注) コンピュータにクライアントアダプタを挿入せずに、最初の 2 つのオプションのいずれかを選択すると、次のメッセージが表示されます。「The device may not be present or could have been ejected/unplugged from the system. Insert or reinsert it now.」クライアントアダプタを挿入して **OK** をクリックします。クライアントアダプタを挿入せずに操作を進めると、インストールは続行されますが、ドライバインストールは未完了になります。後から、Update Device Driver Wizard を使用して手動でドライバをインストールする必要があります。手順は、「[クライアントアダプタドライバの手動によるインストールまたはアップグレード](#)」の項 (P. 9-6) を参照してください。

ステップ 21 Install Cisco Aironet Site Survey Utility ウィンドウが表示されたら (図 3-11 を参照)、無線ネットワーク内にインフラストラクチャ デバイスを最適に配置するのに役立つユーティリティをインストールする場合は、**Install Cisco Aironet Site Survey Utility** チェックボックスをオンにします。Next をクリックします。

図 3-11 Install Cisco Aironet Site Survey Utility ウィンドウ



(注) このサイト調査ユーティリティは ADU から分離したスタンドアロンのアプリケーションで、実行ファイルから起動します。Install Cisco Aironet Site Survey Utility チェックボックスをオンにすると、(ステップ 23 で別のディレクトリを指定していない限り) Install Wizard によってサイト調査実行ファイルが C:\Program Files\Cisco Aironet ディレクトリにインストールされます。このユーティリティの使用法については、「付録 F」を参照してください。

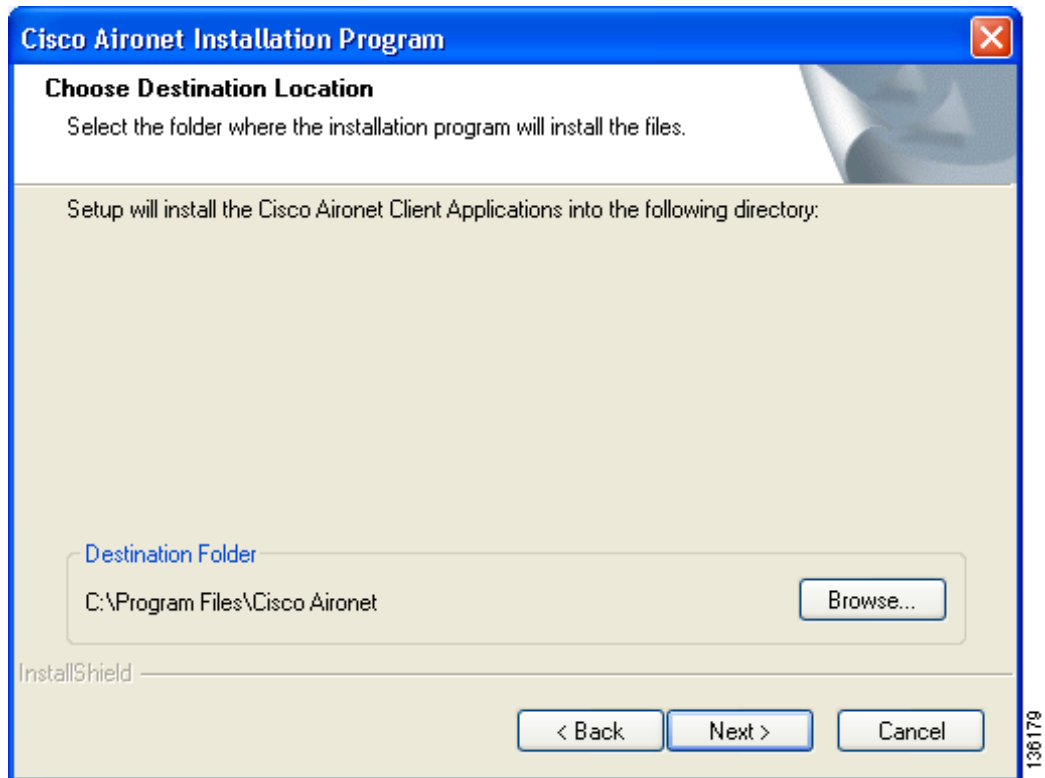
ステップ 22 インストール プロセスの最後にコンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されたら、**Yes** をクリックします。



(注) No をクリックした場合、確認画面が表示されます。続行すると、インストール プロセスが終了します。

Choose Destination Location ウィンドウが表示されます (図 3-12 を参照)。

図 3-12 Choose Destination Location ウィンドウ



ステップ 23 次のいずれかを実行します。

- **ステップ 20** で最初のオプションを選択した場合は、**Next** をクリックして、クライアントユーティリティファイルを C:\Program Files\Cisco Aironet ディレクトリにインストールします。



(注) クライアントユーティリティを別のディレクトリにインストールする場合は、**Browse** をクリックし、別のディレクトリを選択して、**OK** をクリックして **Next** をクリックします。

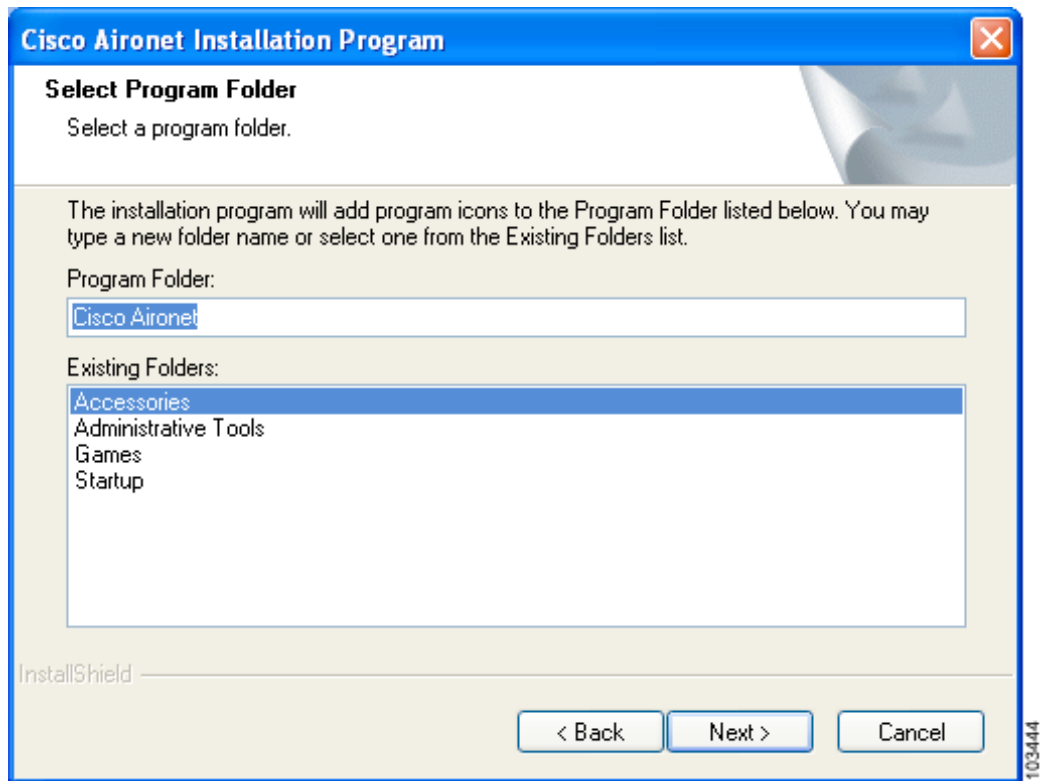
- **ステップ 20** で Make Driver Installation Diskette(s) オプションを選択した場合は、コンピュータにフロッピーディスクを挿入し、**Next** をクリックしてドライバをフロッピーディスクにコピーします。**ステップ 32** に進みます。



(注) ドライバを別のドライブまたはディレクトリにインストールする場合は、**Browse** をクリックし、新しい場所を選択して、**OK** をクリックして **Next** をクリックします。

ステップ 24 Select Program Folder ウィンドウが表示されます (図 3-13 を参照)。

図 3-13 Select Program Folder ウィンドウ



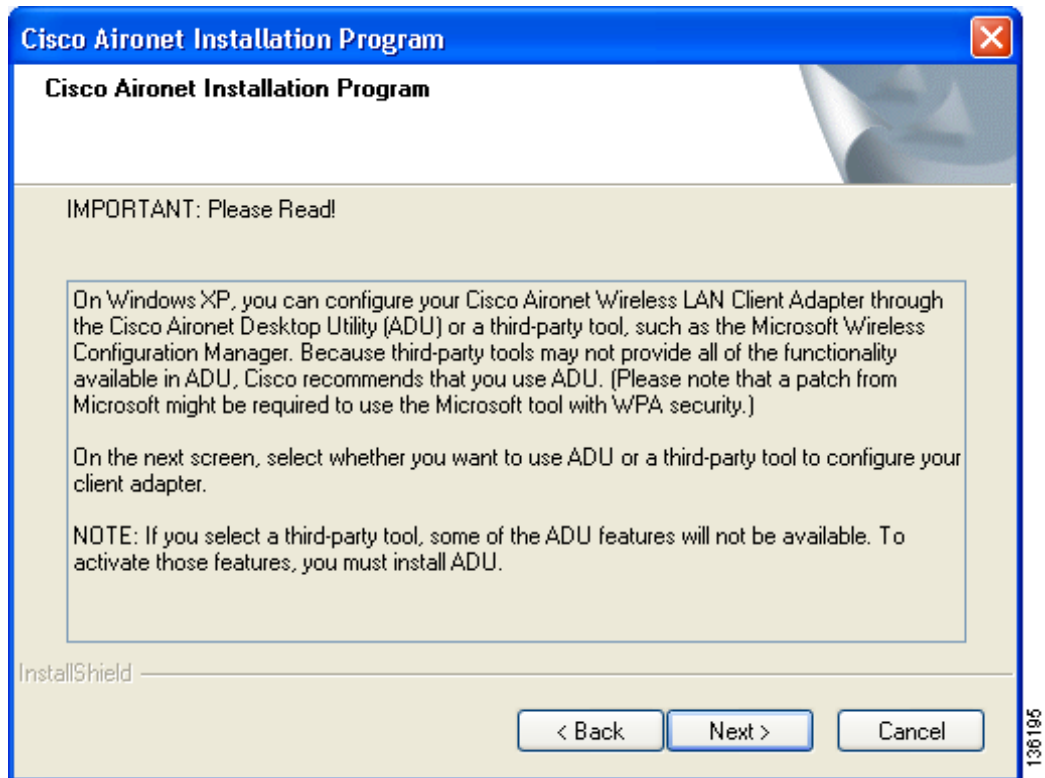
ステップ 25 Next をクリックして、Cisco Aironet プログラム フォルダにプログラムのアイコンを追加します。



(注) 別のプログラム フォルダを指定する場合は、Existing Folders リストからフォルダを選択するか、Program Folder フィールドに新しいフォルダ名を入力して、Next をクリックします。

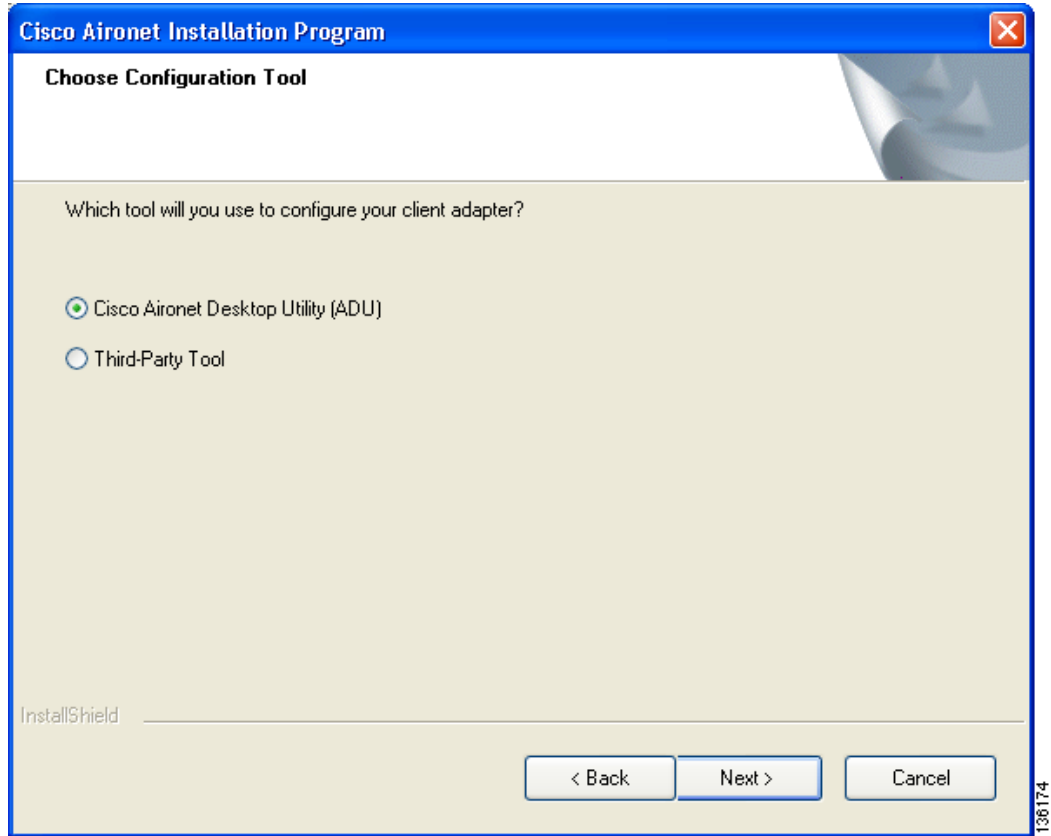
ステップ 26 Windows 2000 を実行しているコンピュータの場合は、ステップ 32 に進みます。Windows XP を実行しているコンピュータの場合は、IMPORTANT: Please Read! ウィンドウが表示されます (図 3-14 を参照)。

図 3-14 IMPORTANT: Please Read! ウィンドウ



ステップ 27 画面に表示された情報を読み、**Next** をクリックします。Choose Configuration Tool ウィンドウが表示されます (図 3-15 を参照)。

図 3-15 Choose Configuration Tool ウィンドウ



ステップ 28 次のいずれかを選択します。

- **Cisco Aironet Desktop Utility (ADU)** : ADU を使用してクライアントアダプタを設定できます。
- **Third-Party Tool** : Windows XP の Microsoft Wireless Configuration Manager などのサードパーティーツールを使用してクライアントアダプタを設定できます。

表 3-1 は、Windows XP と ADU のクライアントアダプタ関連機能を比較したものです。

表 3-1 Windows XP と ADU のクライアントアダプタ関連機能の比較

機能	Windows XP	ADU
設定パラメータ	限定的	豊富
機能		
プロファイルの作成	あり	あり
無線の有効化 / 無効化	なし	あり

表 3-1 Windows XP と ADU のクライアントアダプタ関連機能の比較 (続き)

機能	Windows XP	ADU
セキュリティ		
静的な WEP	あり	あり
動的な WEP による LEAP 認証または EAP-FAST 認証	なし	あり
EAP-TLS または PEAP 認証	あり	あり
ステータスと統計		
Status ウィンドウ	限定的	豊富
Statistics ウィンドウ (送受信)	なし	あり

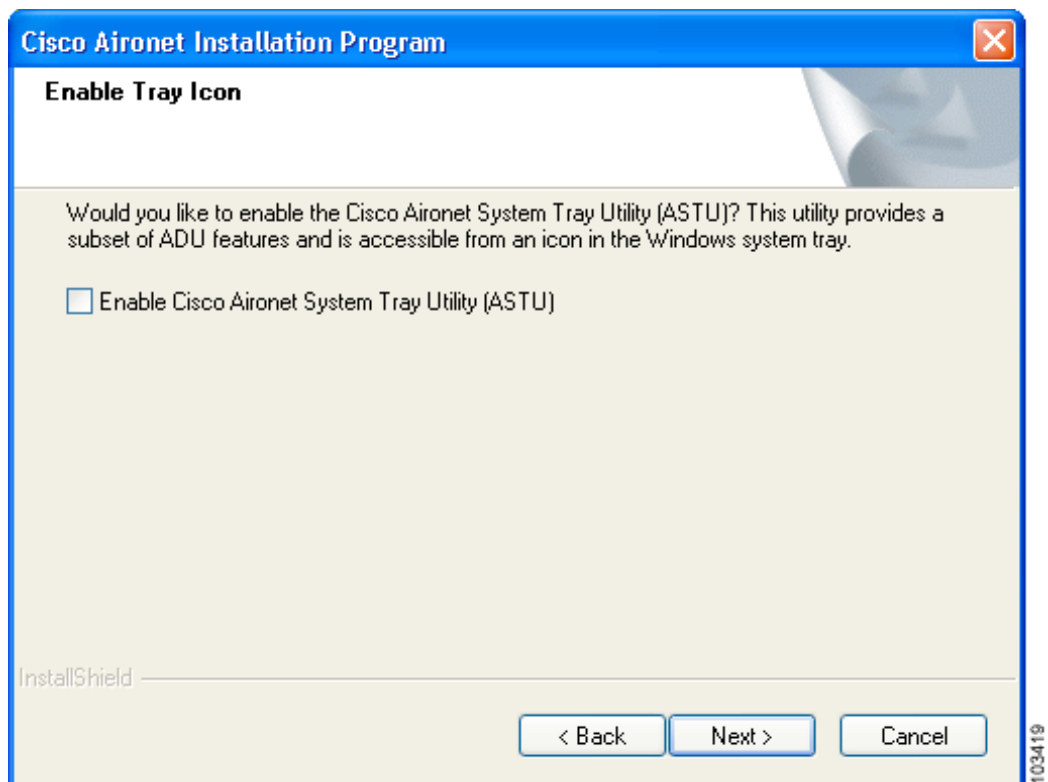


(注) 上記の Cisco Aironet Desktop Utility (ADU) を選択した場合、Microsoft Wireless Configuration Manager は無効になります。これを手動で有効にすると、ADU がアクティブになるたびに、無効化するように求めるメッセージが表示されます。

ステップ 29 Next をクリックします。

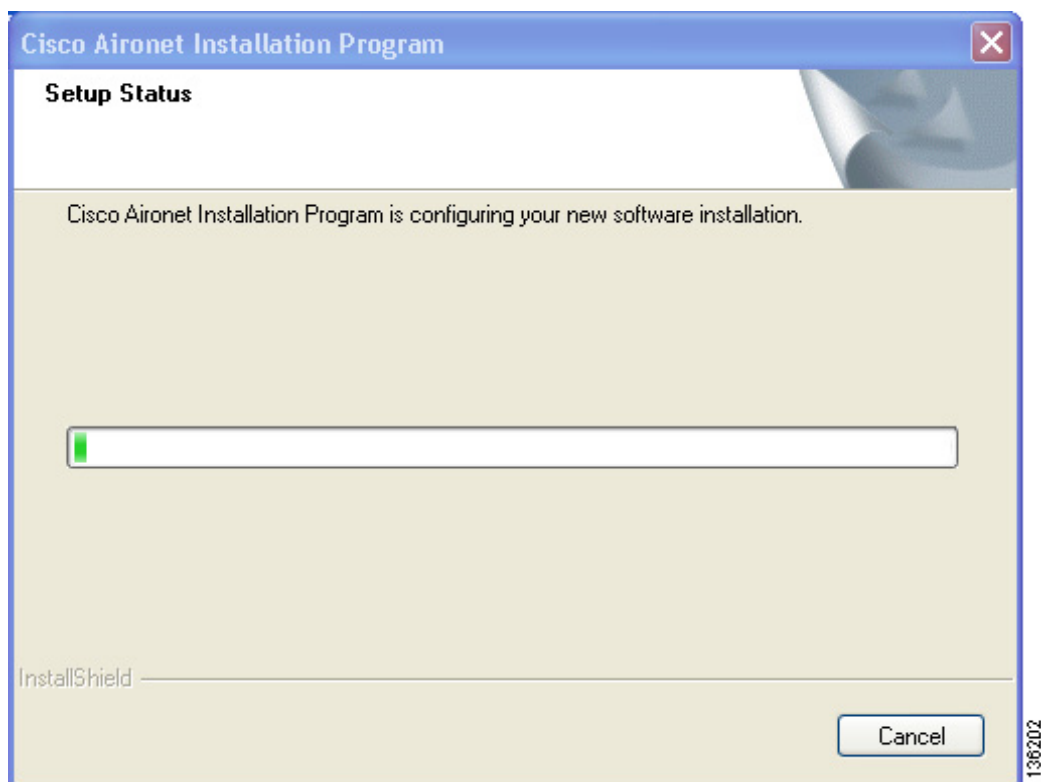
ステップ 30 ステップ 28 で Cisco Aironet Desktop Utility (ADU) を選択した場合は、ステップ 32 に進みます。サードパーティ ツールを選択した場合、Enable Tray Icon ウィンドウが表示されます (図 3-16 を参照)。

図 3-16 Enable Tray Icon ウィンドウ



- ステップ 31** クライアント アダプタを ADU ではなくサードパーティ ツールで設定するように選択した場合でも、ASTU を使用可能にするときには、**Enable Cisco Aironet System Tray Utility (ASTU)** チェックボックスをオンにし、**Next** をクリックします。
- ステップ 32** クライアント アダプタを挿入するよう求めるプロンプトが表示されたら、**OK** をクリックします。Setup Status ウィンドウが表示されます (図 3-17 を参照)。

図 3-17 Setup Status ウィンドウ



インストール プロセスが開始し、各ソフトウェア コンポーネントがインストールされる際に、通知のメッセージが表示されます。

- ステップ 33** コンピュータの再起動を必要とするメッセージが表示されたら、**OK** をクリックしてコンピュータを再起動できるようにします。
- ステップ 34** コンピュータの再起動後に Windows Found New Hardware Wizard が表示されたら、**Next** をクリックして、ウィザードによってクライアント アダプタのソフトウェアがインストールされるようにして、**Finish** をクリックします。
- ステップ 35** ネットワーク設定に DHCP サーバが含まれておらず、TCP/IP を使用する予定の場合は、オペレーティング システムに合わせて次のいずれかの手順に従います。

- **Windows 2000**
 - a. **My Computer**、**Control Panel**、および **Network and Dial-up Connections** をダブルクリックします。
 - b. **Local Area Connection x** を右クリックします (x は接続の番号を表します)。

- c. **Properties** をクリックします。
 - d. **Components Checked Are Used by This Connection** フィールドで、**Internet Protocol (TCP/IP)** および **Properties** をクリックします。
 - e. **Use the following IP address** を選択し、コンピュータの IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイ アドレスを入力します。これらの情報は、システム管理者に問い合わせてください。
 - f. **OK** をクリックして、各ウィンドウを閉じます。
- **Windows XP**
 - a. **My Computer**、**Control Panel**、および **Network Connections** をダブルクリックします。
 - b. **Wireless Network Connection x** を右クリックします (x は接続の番号を表します)。
 - c. **Properties** をクリックします。
 - d. **This Connection Uses the Following Items** フィールドで、**Internet Protocol (TCP/IP)** および **Properties** をクリックします。
 - e. **Use the following IP address** を選択し、コンピュータの IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイ アドレスを入力します。これらの情報は、システム管理者に問い合わせてください。
 - f. **OK** をクリックして、各ウィンドウを閉じます。

ステップ 36 コンピュータを再起動するよう求めるプロンプトが表示されたら、**Yes** をクリックします。

ステップ 37 これでクライアントアダプタが正しくインストールされ、設定できるようになりました。

- ADU を使用してクライアントアダプタを設定する場合は、第4章に進んで、構成プロファイルを作成します。
- Windows XP Wireless Configuration Manager を使用してクライアントアダプタを設定する場合は、付録Eに進みます。
- 別のサードパーティ ツールを使用してクライアントアダプタを設定する場合は、そのアプリケーションのマニュアルを参照してください。



(注)

ADU の Group Policy Delay パラメータを使用可能にするには、次の手順に従って必要な修正プログラムをダウンロードしてインストールしてからクライアントアダプタを設定してください。



(注)

インストール時またはインストール後に問題が発生した場合は、第10章のトラブルシューティング情報を参照してください。

中間ドライバの手動インストール

中間ドライバが正しくインストールされていないために、CB21AG ソフトウェアのインストールが予期しているとおりに動作しないことがあります。このような場合、インストーラがこの状態を検知せず、残りのソフトウェアが正しく機能しないことがあります。

CB21AG 中間ドライバを手動でインストールする必要があります。中間ドライバを手動でインストールする手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** クライアント アダプタを挿入します。
 - ステップ 2** Windows XP の Start > Settings メニューで "Network Connections" をクリックするか、Windows 2000 の "My Network Places" を右クリックして、CB21AGg インスタンスを検索します。
 - ステップ 3** Cisco CB21AG インスタンスを右クリックして、Properties をクリックします。
 - ステップ 4** "Install" オプションを選択して、新しいサービスを追加します。
 - ステップ 5** "Have disk" ボタンを選択します。¥windows¥system32 ディレクトリに移動して、wsimd.inf を選択します。
 - ステップ 6** "Wireless Intermediate Driver" を強調表示して選択し、"ok" ボタンをクリックします。無線 IMD がアダプタにバインドされます。
 - ステップ 7** システムをリブートします。
-

Group Policy Delay 用の Microsoft 修正プログラムのインストール

ADU の Profile Management (Security) ウィンドウの Group Policy Delay パラメータを使用するには、Windows 2000 を実行しているコンピュータに Microsoft の修正プログラムをインストールする必要があります。この修正プログラムは、Windows XP Service Pack 2 以降に収録されています。

Group Policy Delay パラメータを使用すると、Windows にログオンしてから Group Policy が始まるまでの時間を指定できます。Group Policy とは、管理者がユーザグループの設定オプションを指定するのに使用する Windows の機能です。これは、無線ネットワーク認証が実行されるまで Group Policy の開始を遅らせるために使用されます。修正プログラムの入手手順とインストール手順は、次のとおりです。



(注)

修正プログラムをダウンロードするには、ユーザ登録をしてから Cisco.com にログオンします。Cisco.com から修正プログラムにアクセスできない場合は、Microsoft Support にお問い合わせください。お問い合わせ先については、次の Windows 2000 サポート ページをご覧ください。
<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=fh;EN-US;win2000>

ステップ 1 コンピュータの Web ブラウザを使用して次の URL にアクセスします。

http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/aironet_hotfix

ステップ 2 要求されたら、CCO ユーザ名とパスワードを入力して、**OK** をクリックします。



(注)

CCO ユーザ名とパスワードを作成するには、<http://www.cisco.com> にアクセスします。

ステップ 3 修正プログラム ファイル (userenv.zip) をクリックします。

ステップ 4 暗号化認証フォームに入力して、**Submit** をクリックします。

ステップ 5 ダウンロードするファイルをもう一度クリックします。

ステップ 6 コンピュータのハード ドライブにファイルを保存します。

ステップ 7 Windows エクスプローラを使用してファイルを検索し、ダブルクリックしてファイルをフォルダに解凍します。

ステップ 8 コンピュータを再起動し、再起動中に **F8** を押したままにします。

ステップ 9 起動メニューが表示されたら、**Safe Mode with Command Prompt** を選択します。



(注)

この手順はセーフ モードで行う必要があります。そうしないと、システム ファイル保護 (SFP) によって元のバージョンに戻ってしまいます。

ステップ 10 修正プログラム ファイル (userenv.dll) を %systemroot%\¥System32 にコピーし、既存のバージョンのファイルに上書きします。

ステップ 11 %systemroot%\System32\DllCache から、userenv.dll のコピーを削除します。

ステップ 12 コンピュータをリブートします。
